



ま し み ず

か かしこい子
け げんきな子
や やさしい子

9/20 命と性をテーマとした授業公開と学校保健委員会を行いました。

今回の授業公開は「命と性に関する指導」がテーマでした。自分自身や



家族、友達の存在と真剣に向き合う授業となり、命の大切さを考え、自分たちの今後の行動に結びつける学習となりました。保護者の方、地域の方に見ていただき、子供達のやる気がいつも以上に引き出されました。授業公開の後に、学校保健委員会を開催しました。保護者、教職員、



5, 6年生が参加しました。今回は理学療法士の妹尾翼さんに講師として来ていただき、「体の可能性を引き出す身体操作能力」というテーマで講演・実技講習を行って

もらいました。小学生段階から、体の可動域を広げ、しっかりと呼吸を伴って運動することで、けがをしにくい体作りができることを学びました。今回は親子で一緒にできる動きや体操を実際に行ったので、家庭でも取り組めるきっかけになりました。

9/21算数の研究授業を行いました（6年生）

今回の単元は円の面積の学習の発展的課題として、楕円形の面積の求め方を様々な図形の面積の求め方を複合的に組み合わせて考えていく授業でした。現在行われているラグビーワールドカップの話題から、「ラグビーボールの形の面積を求める方法を考えよう」というめあてが提示されました。最初は戸惑っていた子供達ですが、今まで習ってきた図

形の求め方やラグビーボールの形を正方形の中に入れてみるなど、算数の既習技能の復習や簡単な操作などを通して、求め方の見通しをもつことができました。

そして、一人一人がタブレットPCのジャムボードに図や数式を書き込んで面積を求めました。その後、ペアになり互いの考えを情報交換し、学級全体で面積の求め方を共有しました。



ICTを活用することで情報の共有に対する時間の短縮が非常に効率よくできるようになりました。今後も子供達にとって「分かる、主体的に取り組める、考えたことを表現できる」授業を目指して研究を進めていきます。

9/22 写生会を行いました（4～6年生）



学校周辺の写生ポイント（狭長神社、かけや酒造資料館、除雪車、宗圓寺）にわかれて、それぞれが描きたい場所を決めてから描き始めました。学校を出発したときは晴れて日も差していましたが、現地に着いた頃は雨模様が変わって、スケッチするのが大変な場所もありました。それでも子供達は自分の描きたい場所をタブレットで撮影して、学校に帰っても描きやすいように工夫していました。それぞれの写生場所を提供していただいた地域の方のご協力に感謝申しあげます。ありがとうございました。

9/27～29 5年生がサン・レイクで宿泊体験学習を行いました。



5年生が、9月27日(水)～29日(金)まで、島根県立青少年自然の家「サン・レイク」に宿泊体験学習に行きました。2泊3日の日程で、「規律・自主・協力・友情」を研修の合言葉に、学校ではできない体験活動を通して、人としての成長をねらいました。

オリエンテーリング、天体観測、サバニでの湖面活動、キャンドルの集い、野外炊飯活動等を行いました。それぞれの活動は個人では成功体験を味わえないものがほとんどで、友達と協力することで達成することができたので、協力の大切さや楽しさを実感することができました。

今回の宿泊体験学習では、子供達が自分たちの力で課題を解決しながら、自己肯定感を高めたり友達の存在の価値を再認識できたりする素晴らしい研修となりました。「失敗から学ぶ」とよく言われますが、今回の宿泊体験学習はまさにそのものでした。2泊3日の研修期間は、失敗をしても改善していけるチャンスがあるので、子供たち自身が成長を実感できました。出発前の5年生よりも、一回り大きく成長した姿で帰ってきました。今後の学校生活での活躍が楽しみです。

10/8 第38回掛合町ふるさとまつりに全校で参加しました。

掛合小学校では、地域の一員として、ふるさとまつりに全校で参加しました。1～4年生の「子むかで競走」は、学校で練習を積み重ねてきた成果が発揮でき、全チームが約60mを完走することができました。チームで掛け声に合わせて足並みをそろえる姿が、とっても微笑ましかったです。次に教職員チームが、むかで駅伝に挑戦しました。入賞はできませんでしたが、教職員のチームワークはさらによくなりました。5、6年生の掛合太鼓は、中学生、保存会の方との揃い打ちでした。5、6年生の生き生きと演奏する姿、それをサポート

してくださる中学生、保存会の方の演奏に感動しました。掛合町の伝統の重みを感じることができました。また、5年生は田植えから稲刈りまで体験した柄栗のお米の販売をしました。自分たちが体験したことを紹介する資料も展示して、100袋以上(1袋1kg)用意したお米をほとんど販売することができました。

今回のふるさとまつりへの参加を通して、子供達、教職員ともに地域の団結力、温かさを改めて実感することができました。小学校が参加しやすいようにご配慮いただいた地域の方、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



【お知らせ】

～学校での活動に不安や戸惑いのある子どもたちをサポート～「おんせんキャンパス」

「雲南市教育支援センター おんせんキャンパス(所在地:木次町平田)」は、何らかの事情で「学校に行きづらさがある」「学校に行きたくても行けない」といった子どもやその保護者の方をサポートする居場所、学びの場です。子どもや保護者の方とお話をしながら、安心して生活し、活動ができるよう子どもを支えていきます。スタッフや他の子どもとゆっくり過ごしたり、遊んだり、一緒に勉強したりすることもできます。学校と連携をしており、登校するお手伝いも行っています。

「おんせんキャンパスってどんなところ?」「何をしているのだろう?」「スタッフはどんな人?」など興味を持たれましたら、この二次元バーコードにアクセスいただき、紹介サイトをご覧ください。



雲南市商工会議所掛合支部から金一封をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

(文責:校長 野田孝秀)